

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

March 2020

Écoutez Bien Vol.36 No.420

3

オールラウンドな人生



表紙の人／橋爪家三代(富士見町)

立川深層 ⑥

見えない川 「みどり川」

案内人：豊泉喜一氏

総延3,416m余りの短い人工河川「緑川」、今ではこの川を見ることはできませんが、立川駅北口の繁華街を東西に貫いて存在しています。そもそもこの川はどうしてできたのでしょうか？ ある意味ではかつての陸軍飛行場の置き土産といっても良いでしょう。大正11(1922)年、一面の畑や山林であった場所に、広大な陸軍飛行場が開設されました。飛行場の整備が進むと共に、それまで原野が吸収していた雨水が、地下へ浸透しなくなり周辺に流れ出すようになりました。

元々立川市の地形は立川駅周辺が海拔80m、飛行場の北にある阿豆佐味天神社が101m、飛行場の南北でおよそ20m 東南東に傾斜しています。そのため、飛行場に降った雨水は立川駅方面に流れます。飛行場では貯水地や、排水溝を作って処理に当たりましたが、それでも大雨が降ると立川駅周辺は再三水浸しになり、大変困っておりました。

そこで昭和19(1944)年4月、この解決策として飛行場から多摩川へ直接放流しようと排水溝計画に着手しました。しかし、戦争末期のことでもあり、資材も人手も十分でなかったため、工事があまり進まない内に終戦を迎えました。この流路は飛行場南端から始まり、立川市内から国立市青柳で多摩川に流入させるというもので、この流路に当たる家々は、前に書いた駅前の建物疎開と同じ時期に強制的に移転させられました。

昭和20(1945)年、敗戦により飛行場は米軍が使用することになり、排水路の工事は米軍が重機を使って作業を進め、昭和22年4月30日に川幅12m 両側に側道9m 合わせて30mの水路が完成しました。

昭和24(1949)年、無名であったこの川に名前を付けることになりました。中川、緑川、立谷川の三候補のうち、この川は飛行場の所在地「緑町」から始まることから「緑川」と命名され、8月4日都の広報で発表されました。しかし、本来は雨水排水路であり素掘りのままでしたので、雨が降らなければ水は流れず、生活排水が流れ込んで悪臭が漂いました。また、米軍基地から廃油が流れ込み、それに火が着いて火災が発生し燃える川と呼ばれたりしていました。昭和29(1954)年、素掘りだったこの川にコンクリートの護岸が出来、これにより転落すると川から上がれず死亡する事故が発生しました。折から立川市の下水道事業が進展、この川を下水道とし、さらに駅周辺の駐車場対策として^{ふくがい}覆蓋工事が始まりその結果川の形態がなくなりました。

現在この緑川は本来の役割を終え、繁華街を横断する貴重な道路として、道路下の空間は下水道幹線として大きな役割を担っています。今では川は見当たりませんが、川の名残として曙橋、東橋、羽衣小橋等橋の名前が残っています。



覆蓋工事前の緑川(昭和30年ごろ)
写真提供：立川市歴史民俗資料館



曙橋交差点



東橋交差点



羽衣小橋

企業人だからやれること

社会福祉協議会会長 鈴木茂さん

勉強はできるにこしたことはない。

でも、世の中に出たらもっと別の部分が大事なんじゃないかな。



【福祉の原点】

——今日は社会福祉協議会の会長としての鈴木さんにお話をうかがいに来ました。

鈴木 それを語るには、私の生い立ちから話した方がいいでしょう。私の両親は川越の近くの川島村というところの出身です。父親は川島村から川越へ出て、青梅に出て、立川へ来て、それで商売を始めた人です。立川へ出てきたのは昭和一桁頃でしょうね。錦町の今の三田花店の並びで開業し、建材屋とか瓦屋とか蕎麦屋とか、不動産屋とかやっていました。一番商売が繁盛したのは瓦屋でした。戦前は兵舎とか学校が瓦葺きだったから。立川市内の小学校、中学校、病院なんかはほとんどうちの瓦でした。うちと浅見（コンクリート）さんがセメント瓦を造っていました。

——はい。

鈴木 私は8人兄弟なんです。上に3人男がいて、姉が2人、その下に3人男がいて、私は下から2番目、ブービーなんです。大所帯ですよ。そこに商売もやっていたから、職人さんが

家で寝泊まりしていることがあって、時には15～17人くらいの大所帯。朝食などは2部制でした。そういうところで育つと否も応もない。大家族で育ったことが、今考えると私の人生に大きな影響を与えている。兄弟が多かったと言うと、みなさん、生存競争が激しくて、それで生活力や競争力がついたんでしょうなんておっしゃるけれど、確かにそれはその通りですが、多い兄弟だと自然とそれぞれの役割が決まってくる。上の方の兄や姉は下の弟たちの面倒をみるとか。下の弟たちは黙って指示を待つとか。戦後は食べるものがなくて、兄や姉だってもしかしたら食べたかったかもしれないのに、小さい弟たちにはそっと残しておいてやるとか、取り置いてくれるとか、そういう環境が今の自分につながっていると思いますね。それが私にとって福祉の原点です。

【若い日の経験】

——大きな病気を克服されてまだそれほど経っていないように思います。病名は何だったのですか？

鈴木 3年前ですね。悪性リンパ腫でした。がんという病気は治らない時代ではないけれど、早め早めにやっていけば大丈夫だという見本です。

——必要とされているから生かされたんでしょうね。

鈴木 おだて上手な人はみんなそう言いますね（笑）。私は小学校4年から5年にかけて1年間、腎臓病で共済病院に入院していたんです。第三小学校でしたから、目の前に学校があるのにそこに行けなかった。5年の2学期あたりから落第せずに復学できたのですが、以来中学1年まで体育の授業は見学です。まったくの虚弱体質で、腎臓病もこじらせると生命に支障をきたすということですね。その代わり本を読んだり絵を描いたり、そうしたことがやはり今につながっています。

——立川文学賞を創設されたり、絵もお得意でいらっしやる。

鈴木 高校3年の時、建材屋をやっていた長兄が、車の中で「おまえ将来何をやりたいんだ、大学はどういうところへ行きたいんだ」と聞くわけです。「芸大とか美術系に進学したい」と言うのと、「悪いことは言わない、やめとけ。絵が好きだったら建築設計事務所というのがあるぞ」とね。その時、初めて目の前に現実の仕事が降ってきたという印象で、その時に決めたんです。設計をやらうって。

——文系なのに？

鈴木 誰がどう見たって文化系だったんです。でも、建築は工学部で、数学とか理科とか、嫌いだったし勉強しなかったことをその時からやり始めたのだから、間に合わない。結果的に1年浪人して日本大学に入りました。これが得意だからこの道に進もうというやり方もありますが、私のように、こうなりたいからこれを勉強するというやり方もあるわけです。就職の時、私には竹中工務店か中野組という選択肢がありました。構造設計をやっていましたが、意匠をやりたくて、その観点からいえば二部から一部に（上場の）指定替えをしたばかりの中野組

がいいんじゃないかなと思った。当時は構造しかできないから構造に入りました。——簡単におっしゃるけれど、すんなり入るなんてすごいですね。

鈴木 しかもね、優秀な成績で入ったの。このくらいの規模の会社だと入社試験は過去の1級建築士の試験問題から出るとして、過去3年分くらいを全部暗記して受けに行きましたら、100点でした。100点は他に何人かいたかもしれませんが、3本から5本の指に入って入社したのだから優秀でしょう（笑）。——智者ですね。

鈴木 笑っちゃうのは、入社してから「来年の入社問題を作れ」と言われて、どうするんですか?ってきいたら過去問から出すっていうんです。——先見の明があった！（笑）

鈴木 ここで言いたいことはね、一生懸命勉強するのも大事だけれど、世の中に出たら、こうして先のことを予見したり、人の考えていることを察知するのも大事だということです。私は自分の子どもにもよく言うんだけど、人はそれぞれ別の能力というものをみんな持っていて、社会はそういうところを評価することがあるんです。勉強はできた方がいいには違いないけれど、そこだけではない。——今はまさに個性の時代です。

鈴木 社協の職員に言っているのは、自分の気持ちとか、やさしさとか、ここはそういうことが全面に出せる職場だということです。学校で学んだことも大事だけれど、自分が育った環境とか、親から小言交じりに言われたことの方がね、世の中に出てからはよっぽど役にたっていると今、実感しています。私は今年73歳になるんだけど、この歳になるとよくわかる。昔からこういうことを言っている人はいたんだけど、自分が若いと聞く耳をもたないですからね。——経験を積んだ年齢ってありがたいものですね。

鈴木 本当にそう。記憶力や注意力はだんだん弱くなっていくんだけど、何が大事かということがわかるようになるんですよ。

【常にポジティブ】

鈴木 辿りきた道のトータル、集積で、今私はこのお役に就かせていただいている、学校の勉強とはまったく関係ない立場、自分の専門分野とも違う、むしろ自分が育った環境とか親の教えとか、沢山の失敗の上に立って仕事をしています。皆さんには、失敗しても大丈夫ということを書いてあげたいですね。学歴コンプレックスを持っている方もね、社会に出てからいくらでもとり返せる。私も失敗してきたし、後悔することはたくさんあるけれど、自分では振り返らないようにしています。でも失敗してきているから「大丈夫だよ」って言えるんで、エリートだったらそういう発想はないかもしれない。——どうしてできないんだ?って詰問されちゃ

いますね。

鈴木 だからこそエリートなんだけれどね。私は、今も図面描いてますし、去年は2つ、3年前は3つ設計しました。——ご病気だったのに？

鈴木 結婚してすぐ独立したんですが、小さな会社の経営者だったという環境がよかった。CADを導入してね、管理職は普通CADを自分で操作して図面なんか描かないんだけど、中小零細企業だから社員が辞めちゃったりすると自分でやらなきゃならない。バージョンアップする度に自分で更新してきたんです。幸か不幸か、やらざるを得なかった環境のおかげで、現在でも簡単に仕事ができる。——IT化の波にうまく乗られたんですね。

鈴木 私が中野組に入って最初に渡されたのは算盤と計算尺ですよ。それで構造計算をやっていた。翌年、今の電卓よりずっと大きい電卓を会社から渡されて、3年目にデモスというコンピュータシステムが開発されて研修に行きました。構造から意匠に移っても、ツールは一緒です。こうしたデバイスの変遷には慣れていますし、SNSも積極的に使っていたことで、社協のホームページをリニューアルするのに「一番詳しいのは会長だから立ち会ってください」と言われたりしてね。——常に最先端。

鈴木 我が家には定年という認識がない。生涯現役です。親父が不動産屋を始めたのは60歳になってからですよ。家業を長男に譲って、隠居はしないで、何かしなければいけないと思ったんでしょうね。不動産屋は、私と上の兄とが資格を持っていたので、それを貸せと言われて。親父には経験がないんですよ、それでも南口の不動産屋さんに「1年間店先で見習いをさせてくれ、丁稚奉公で給料はいりません」って言ってね、61歳で不動産屋を始めたんです。60歳から何かやろうと言うのは暗黙の教えです。——すごいお父さんですね。

鈴木 我々は毎日一生懸命働いていますでしょう？ 親父のところへ行ってみるとよく昼寝なんかしててね。でも、立川ですっと商売をさせてもらっていましたから顔が広くてね、年に何回かちょっと仕事するだけで、私なんかと同じくらい稼いでしまう。親父を見ているとね、コツコツ頑張ることも大事だけれど、物の本質をとらえることがいかに大事かわかります。社協の仕事などもそうだけれど、物事を的確にとらえられるかどうかのポイントですね。そう考えると、私の一番の先生は親父かもしれません。ありがたいことです。

【社協の会長として】

——多岐に亘る社協の活動をわかりやすくしてくださっていると感じています。

鈴木 今までの会長がなさってきたことはわかりませんが、私が会長に選出されたにはされた

なりの意味があると思って、私なりにできることをやっています。変化が見えているのならありがたいです。実は四半期報告会というのを2年半前から職員にやってもらっています。事業計画を立てて1年経って結果を分析して報告するのは遅い。民間は四半期報告というのをやって、それで業績とか、立て直すべきを分析するのだと。社協の事業は違うという声もありました。でも、違わない。財源は主に市の予算や寄付金と会費ですから。お金の出所を考えたなら、なお一層、効率よく無駄なく使うことを考える必要があります。民間の社会福祉法人はみんなそうやって苦しんで借金しながらやっているんです。この四半期報告会を始めてから、お預かりしているお金を今まで以上に大事に思えるようになったのではないかと、私は感じています。——すばらしい。

鈴木 私は福祉の専門家ではありませんので、私にできることは何かと言ったら、民間の感覚を教えることです。建築家として民間の福祉法人の建設に携わってきましたが、みなさん苦労しながら建物を建てている。一方、社協の施設はほとんどが市の建物です。組織もしっかりした組織ですが、でも職員は公務員ではありません。そこで、もっと意識を高めてもらうために、「総務」を「経営総務」にしたり、「多文化共生推進担当」を作ったり、「幹部会」を「経営会議」に改名したりと、意識改革と実務でお金为天から降ってくるわけではないことを伝えていきます。小さくても企業の経営者ですから、そこがお役目かと自覚しています。——大改革ですね。

鈴木 まだ変わっているかどうかわからないし、私自身がいつまで会長をやるかもわからないのですが、こうしていくつか仕組みを作り文字にしておけば、少なくとも多少のエッセンスは残り、いずれ芽が出てくるのではないかなと期待しています。

鈴木 茂さん

一級建築士事務所 アーキフリー株式会社 代表取締役。昭和22年生まれ。8人兄弟の下から2番目、小学校1年生の時は登校拒否児童で、毎日お店の番頭さんに引っ張られ泣きながら登校していた。ご本人の記憶では小学校3年まで学校で一言も口をきかなかったらしい。ようやく柔道や野球で身体が丈夫になり勉強もという小学校4年でネフローゼを患い約1年間休学。幸い落第することなく元の学年に復学。幼いころは無口な少年、青年になっても感情を露わにすることはなかったが、独立して仕事のために立川青年会議所に入ったところから頭角を現す。立川青年会議所第21代理事長。立川市の多文化共生センターの設立に関わり、立川こぶしロータリークラブ創立25周年には立川文学賞の設立にも大きく寄与。2015年より社会福祉法人立川市社会福祉協議会 会長。趣味の幅は広く、スポーツ全般、読書、絵画など広く活躍されている。

ウィキペディアタウン in 立川

ネット百科事典で世界に発信

ネットユーザーなら知っているであろう〈ウィキペディア〉。

でもその信用度はイマイチ。それなら確かなものを自分たちの手で発信しよう。



阿豆佐味天神社



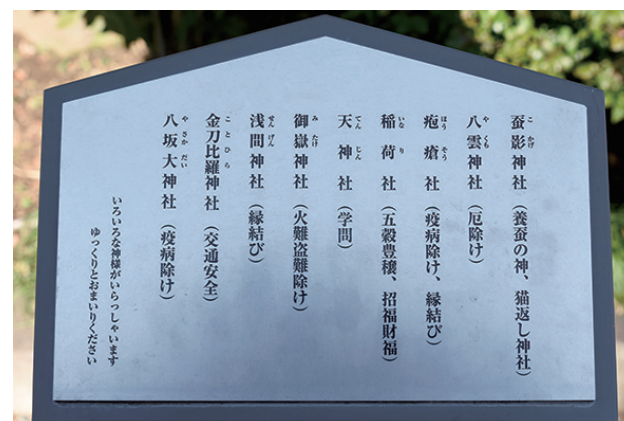
猫の絵馬もある

「ウィキペディアは、誰でも編集できるインターネット上の百科事典です。午前中は、砂川地区をガイドと共に歩きます。午後は、図書館の資料を用いて、地域の魅力をウィキペディアの記事として世界に発信します。」という立川市上砂図書館の試みに、事前予約の定員16人が参加しました。すでに記事をアップした「諏訪神社」に続いて、今回のテーマは「砂川分水」と「阿豆佐味天神社」。令和元年12月1日10時から16時までという長丁場。午前中のまち歩きガイドは、もちろん「たちかわまちの案内人」さんたち。参加者は歩き、話を聴き、写真を撮り、調べ、書いて記事を作成していました。

講師はウィキペディア日本語版編集者の方々。参加者は立川人以外にも、他地域でこうした取り組みに興味のある方、驚くことにウィキペディアの著名執筆者もいらしていました。執筆者としてのアカウントを設定し、ウィキペディアとはなんぞや？ からレクチャーしていただいて、図書館にある資料をフル活用。最後には立派な記事に仕上がっていました。

そもそもなぜウィキペディア？ ウィキペディアとはウィキメディア財団が運営しているインターネット百科事典。そして世界の各言語で展開されています。中立的な観点に基づいて、誰でも利用可能、編集も可能という便利なもの。けれどもそれだけに信頼される百科事典となるには執筆者の行動規範意識が大事です。まずは信頼できる情報源を可能な限り集約し、「コピーレフト」に同意して執筆・写真撮影。独自研究や検証不可能なことは掲載しません。真実より検証可能かどうか重要になります。そこで図書館の登場というわけです。検証のための資料をたくさん所蔵しているのはやっぱり図書館だから！

というわけで、せめて立川の名所名刹くらいは正しい情報を記事にしてアップしたい。「諏訪神社」「砂川分水」はアップしました。「阿豆佐味天神社」はもう少し。でもいずれはアレもコレも、と夢は膨らみます。世界へ発信、ウィキペディアタウン in 立川。「～らしい」「～みたい」「～かもね」という情報が溢れる毎日だからこそ、確かな「立川」が期待されます。



阿豆佐味天神社にはいろいろな神様が祀られており、蜚影神社は猫返し神社と呼ばれていることも記されています。



砂川分水



大丈夫、ちゃんと先生が教えてくれるので誰でも記事が書けるようになります



上砂図書館の林泰子さん。テーマに合った資料を揃えておいてくださいました。「月刊えくてびあん」もありました。



「砂川分水」班と「阿豆佐味天神社」班に分かれて作業



えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 柴崎町・富士見町・緑町・泉町・西砂町 一番町・上砂町・砂川町・柏町 のお店です。	
柴崎町 キッチンコート立川店540-1131 LaLaLa.....090-2564-3198 スープ・カフェ なんでもない日 523-5114 武本測量（株）.....524-7731 立川市柴崎市民体育館 523-5770 NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112	
● 富士見町 （株）浅見酒店 522-2823 伊藤接骨院 524-7861 手作りケーキの店 フティ・パニエ 529-8364 さえき 西立食品館 529-5333 西村歯科クリニック 519-9501 井上レディースクリニック.....529-0111 中華レストラン 東華園529-0458 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866 飯塚花店 522-5684 うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054 びービー K 70 525-3623 （株）ホーミー 522-2220 カフェ 貸しホール ばくだん畑 522-2214 波多野米店 522-2884 立川市社会福祉協議会 529-8323 桜井電材（株）..... 523-5281 立川市歴史民俗資料館 525-0860 乙黒東洋整骨院 523-1859 インテリア アイアイ 522-5972 たましん 富士見町支店 528-1741 滝ノ上米店 522-4019 ESPOA おぎの 522-4500 建築リフォーム（有）日防商会 0120-263821 （株）立川印刷所 524-3268 日本交通立川（株） 528-2151 松栄寿司 524-6958 ふじみ食堂 523-4791	
● 緑町 Adam's Awesome Pie 595-8375 国立国語研究所 540-4300 国立極地研究所 512-0652 南極・北極科学館 512-0910 国文学研究資料館050-5533-2900 花みどり文化センター 528-1751 昭和天皇記念館 540-0429	
● 泉町 インヴォラーレ・ルーデンス 立川ルーデンステニスクラブ 525-9677 blooming bloomy 55ぼーと立川立飛店 548-1215 東京消防庁 立川消防署 526-0119 Café はおもにい♪ 512-7810 大和ハウス工業（株）多摩支店 525-1821	
● 西砂町 砂川庵 甚五郎 531-6788 西砂歯科医院 531-4129	
● 一番町 私立立川ひかり保育園.....531-1273	
● 上砂町 B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250 fresh shop スーパーはしもと 536-2331	
● 砂川町 みの一れ立川 538-7227 JA 経済センター 立川店 536-1824 JA 東京みどり 立川支店..... 536-1821 陶工房 己流庵 537-6102 たましん 砂川支店 535-4411 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070 BREAD & Sweets マニシェール 537-2202	
● 柏町 café de La Boum 534-6541 山梨中央銀行 立川支店 536-0871	

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
 スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

パンナム交流プロジェクト

東京オリンピック開催に合わせ、立川で事前キャンプを行うパンアメリカンスポーツ機構を代表して、スポーツディレクター リカルド・プロバート氏一行が来日、文化交流を行いました。1月17日(金)こばと幼稚園を訪問。子どもたちと一緒に折り紙や書道を体験。続いて幸小学校へ。3年生の教室では、リカルド氏にクイズを出されてちゃんと英語で答える児童たち。お昼には共に給食も頂きました。午後には立川高校へ。ESS&陸上部、野球部の生徒たちと交流。リカルド氏のクイズに正解すると豪華景品（パンナムパッチ）をもらえるコーナーは盛り上がりました。その後グラウンドへ移動、元トライアスロン選手のリカルド氏が直接ランニング指導。ここでも和気あいあい。楽しい経験となりました。キャンプ中、選手はアリーナ立川立飛、ドーム立川立飛、近隣大学施設で練習するそうです。



立川高校で



牛乳で「かんぱーい」幸小で



立川高校で

南商連創立20周年記念式典

1月14日(火)、ホテル日航立川 東京において、立川南口商店連合会の20周年記念式典が行われました。立川南口商業の歴史は古く、実は昭和5年、立川駅南口ができた年に始まります。この創立20周年は、南口がひとつとなって「立川南口商店街連合会」ができた時からの20年。50年にも亘る区画整理を乗り越えて、多くの方が尽力されてこられた歴史の一区切りです。昨年は、初めて南口から立川市商店街連合会理事長が誕生しました。これからの南口、大いに期待されます。



歴代会長へ感謝状の贈呈。故・小澤武宣初代会長に代わって、ご子息の現会長 小澤清富氏が感謝状を受け取りました。

今年も走りました。立川市駅伝競走大会

1月19日(日)、前日の雪が残らなくてよかった。お日様の光眩しい駅伝大会が、例年通り市役所南側をスタート&ゴールに開催されました。今年は高校生の参加が13チームにもなり、プログラムが2冊に。スターターは清水市長、号砲に飛び出す選手たち。1巡目、最初に襷を渡したのは錦町。3.2キロを10分切って走ってきました。高校は田無高校に続いて立川高校がゴール。一般参加にはゼッケン「110」番の警察署や、「119」番を含む消防署6チーム、国立の研究機関は「小湊塾」の名前で3チーム、新規の顔として5月12日立川北口グリーンズプリングスにオープンする「ソラノホテル」2チームなどが参戦。駅伝大会がとても賑やかに、大きなイベントとなっているのを感じました。



ソラノホテルチーム



元気にスタート



錦町チームは全員俊足、今年も地区対抗優勝です。

盛大に消防出初式

1月12日(日) 曇天の午前中、消防出初式が国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン ゆめひろばで行われました。行進、国歌吹奏に続いて豊泉消防団長の人員車輛報告で始まった出初式には、消防団員241名、消防署20名、市民消防隊100名、市役所自衛消防隊15名、立川警察署2名、立川市吹奏楽団45名の計423名に加え、指揮車1台、消防ポンプ車10台、可搬ポンプ12台、白バイ2台が参加。一斉放水が水のカーテンを作って出初式は終了。消防団の皆さん、市民消防隊の皆さん、今年も1年、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



令和初のドンドン焼き

1月15日(水) 小正月。珍しく雨となったドンドン焼き、諏訪神社では本殿で神事が執り行われ、その後、境内地に集められていた古いお札や松飾、だるまなどに、氏子総代の手によって火がつけられました。中には片目しか入っていないだるまもありましたが、多くの方が集まって1年間のお守りに感謝、厄を落として新しい年を開く神事に立ち会われていました。

おじゃましま〜す！ 80

レストランヨネザワ

フレンチなのに、どこかアメリカの香りのする『YONE ZAWAヨネザワ』。ご両親が1955年に始めた洋食レストランを受け継いで、立川市柏町にお店を構えたオーナーシェフ米沢 徹さん。時々ライブなども行われる“ニューヨーク・フレンチレストラン”として、幅広い層の方々に支持されてきました。



カニクリームコロッケ

メニューの1つがカニクリームコロッケ。「ズワイガニやたらバガニをばらして、身をほぐすところから。フランス革命以来、作り方は変わらない」と微笑みます。そしてフレンチの定番、ビーフシチュー。オープンで40分ほど焼いた牛肉を、鶏ガラ・牛すじ・野菜などと一緒に煮込み、1から手作りのソースで仕上げるもの。とろけそうなお肉をひと口、調理時間ではない遠い“時間”を感じさせます。

「料理人は職人。その職人がなすべき事をせず、出来合いのもので作ったりするのはどうかと」。化学調味料や着色料、保存料などを一切使わないのも信条。接客については、こう語ります。「ごちなくとも一生懸命やっている姿、家庭的な雰囲気を大切に」。訪ねてくる近隣の学生を採用し、マニュアルではない心からのふるまいを伝えます。

「年齢に関係なく、同じ価値観のお客様を集めたい」。時代が変わっても変わらない伝統メニューの数々を、かしこまらずに味わえる貴重なお店です。

ビーフシチュー



表紙の人

(左から) 橋爪恵一さん、橋爪えり子(しおみえりこ)さん、橋爪千根さん、橋爪恵夢さん
撮影場所:NaNairo PasTa (赤川ボンズ作の人形と)

「保育園の送り迎えは私がしたの。恵夢が大好き」と千根さん。1月18日が97歳のお誕生日。とてもお元気です。恵夢さんもお祖母さんが大好きだそうです、ご両親がいない時はいつも二人で留守番をしていたのだとか。クラリネット奏者の恵一さんとプロデューサーのえりこさんの出会いは演奏会。以来、立川を拠点に仲睦まじく活動されています。その1つ「できることをできるだけプロジェクト」は、東日本大震災後、東北の高校へ沢山の楽器を送ったところから始まりました。津波で汚れた着物をきれいに洗ってリメイクし、その時に出たハギレを、50cm四方の布作品にチクチク縫い付ける活動へ。震災を忘れないと同時に着物の美しさを発信。多くの人の共感を呼び、活動は日本各地から海を渡り、撮影の当日もモロッコから帰ったばかり。富士見町のNaNairo PasTa は恵夢さんのお店。パスタはもちろん、デザートまですべて手作り。この時期のお勧めは、ニューカレドニアでしか獲れない海老を使った「天使の海老のトマトクリームソース」。ぜひ！

かたこと

◆美味しい立川が消える残念なお知らせからです。西砂町にあるパン屋さん「かいじゅう屋」が3月21日をもって閉店です。国文研のロバート キャンベル館長に、えくてびあんが最初にお届けした「立川の味」がかいじゅう屋のパンでした◆そして二つ目の美味しい立川は「シネマカフェ」。サンサンロード沿いのシネマ2にあるピザとパスタのお店です。こちらは2月末で閉店。あへ、残念◆昨年は安心、安全な和定食を提供してくれていた「レストラン サラ」さんもお店を閉じて、立川のお店と長いお付き合いのえくてびあんは淋しい限りです◆でも、一方でこれから！と意欲を燃やしている人たちもいて、立川は変遷の時なのかもしれません。お店に限らず意欲満々な方々が立川には集まってきます。先月号に掲載した三田鶴吉さんは「よそ者が立川を変える」とよくおっしゃっていました。よそ者だからこそ、とらわれなく変えられるのかもしれない◆それでも「立川がどんな歴史を辿って来たのか、少なくとも自分たちが立っている場所は以前なんだったのかくらい知っていてもいい」とおっしゃるのは豊泉喜一さん。バラバラに調査研究するだけでなく、みんなで検証、確かな情報へとまとめていきたいですね。えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

3月号 第36巻 通巻420号

令和2年3月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

いよいよ最終回となりました。多摩立川保健所監修のこの企画。皆さんに必要な栄養素を十分確保するためには、1日 350gの野菜が望ましい。けれども都民の平均摂取量が 305gで、もう少し野菜を多く摂って欲しいと始まった企画です。1人分で 120g以上の野菜が食べられる野菜たっぷりメニューを置いている飲食店を、多摩立川保健所では「野菜メニュー店」として登録、ステッカーを配布しています。今月のお店はうまいもん処 弁慶。「鉄板焼き」という名の和風スパゲティは、鉄板でジュージュー、熱々が目の前に運ばれてきます。音もよければ香りもいい! たっぶりの地場野菜で麺が見えない。しょうゆ味は量が多くても飽きさせない日本の味です! ロケ弁など大人数のお弁当も扱う弁慶のハンバーグはもちろん美味しい。でもね、寒い時期、遠方からもその味を求めてお客さんが集まる「カキフライ」は絶品ですよ!



野菜はいっぱい食べやさい

12

監修：東京都多摩立川保健所



ハンバーグ



うまいもん処 弁慶

立川市栄町 5-10-2
TEL 042-535-1530
営業時間 11:30 ~ 14:00
18:00 ~ 20:00
定休日 月曜日